



むらた よしや  
**村田 好哉** 教授

専門分野

日本文学、日本文化

**Q** 担当科目を教えてください。

**A**

【日本文学史】

日本文学の近代から現代への流れを、小説を中心に概観します。近代文学において小説というジャンルはどのように形成されたのか。また、それぞれの時代や社会的背景の中でどのような思潮が生まれ、どのような作品が登場したのか。文学を時代や社会の中に位置づけることによって、各作品の意義についても理解を深めます。

【文章表現論】

自分の考えを論理的な文章として表現する力を身につけることを目標とします。レポート・論文とはどのようなものかを「知る」ことからはじめ、テーマを「構想する」、意見を論理的に「組み立てる」、そして「レポートを完成させる」という各過程を実践的に学習していきます。

**Q** 専門分野に関する研究テーマの魅力を教えてください。

**A**

日本近代文学に関する研究をしています。明治から昭和にかけての小説、主に夏目漱石や横光利一の研究を続けています。作品自体を読み解くだけでなく、同時代の社会や文化状況の中で、文学作品がどのような影響を受けて成立し、またどのような影響を社会や文化にもたらしてきたのかという観点から分析することを心掛けています。また近年は書誌学的研究の方法で作品形成における典拠の調査や文献解題・研究文献目録の作成にも取り組んでいます。文学研究では多くの作品に触れることを通じて、過去の人々の人生を追体験することができます。小説に描かれた「感染症」や「戦争」の時代を生きた人々の人生をたどることで、多くのことを学ぶことができます。

**Q** 先生の人となりをお教えてください。

**A** 趣味というよりは仕事であり研究ですが、旅行や出張の際に訪れた町にある文学館や図書館、古書店を巡ることが楽しみです。新型コロナウイルス感染症拡大の影響でしばらく中断していましたが、一日も早く再開できることを願っています。

**Q** 学生みなさんへメッセージを！

**A** 継続は力なり！自分のめざす姿をイメージしながら、小さな成功体験を積み重ねることで、自分を伸ばしていきましょう。